

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 (製品名) Versaprint™ Maintenance Spray - 71500503
供給者
会社名 Weber Marking Systems GmbH
住所 Maarweg 33
53619 Rheinbreitbach
電話番号 +49 (0) 2224 7708-0

www.webermarking.de

緊急連絡電話番号 Infotrac 800-535-5053 (US only)
International +1-352-323-3500

SDSパート番号 900-0080-01

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 インクジェット用インク。
整理番号 51 改訂 J

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性 GHS分類基準に該当しない。
健康に対する有害性 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分2B
環境に対する有害性 GHS分類基準に該当しない。

GHSラベル要素

絵表示 なし。
注意喚起語 警告
危険有害性情報 眼刺激。

注意書き

安全対策 取扱い後はよく洗うこと。
応急措置 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
保管 避けるべき物質の近くに保管しない。
廃棄 廃棄物および残渣の処理は地方自治体の規制に従う。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候 眼刺激。 投与されたヒトが涙流、発赤、不快感を経験することがある。
非常事態の概要 眼を刺激する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分	CAS番号	官報公示整理番号		含有量 (%)
		化審法	安衛法	
[2-(2-メトキシメチルエトキシ)メチルエトキシ]プロパノール	25498-49-1	(7)-97	(7)-97	95-100%

化学式 C10H22O4 (25498-49-1)
組成情報 ガス以外の成分は重量パーセントで示す。ガスの濃度は容量パーセントで示す。

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所へ移動する。 症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。
皮膚に付着した場合 石けんと水で洗い流す。 刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。
眼に入った場合 直ちに多量の流水で15分間以上眼を洗浄する。 コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。 その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合 口をすすぐこと。 大量に飲み込んだ場合は、直ちに毒物管理センターに連絡する。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 眼刺激。 投与されたヒトが涙流、発赤、不快感を経験することがある。
応急措置をする者の保護 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。

医師に対する特別な注意事項

一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。

5. 火災時の措置

消火剤

泡消火剤。 粉末消火剤。 二酸化炭素 (CO₂)。

使ってはならない消火剤

消火に水噴射をしない。これは火災を拡散することになる。

火災時の特有の危険有害性

容器は加熱すると内部の圧力が高まり、激しく破裂することがある。 火災時には、刺激性の及び有毒ガスあるいは煙霧が放出される恐れがあります。 炭素酸化物、アルデヒド、有機酸蒸気、ケトン。

特有の消火方法

危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。

消火を行う者の保護

火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。

一般的な火災の危険性

製品は可燃性ではありません。 熱により容器が爆発することがある。

特定の消火方法

通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。十分な換気を確保する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。

環境に対する注意事項

下水や水路、地面への排出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

大量の漏出：水を噴霧し、蒸気を減少させるか蒸気雲の流れの向きを変える。リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。可能な場合は漏出物をせき止める。プラスチックのシートで覆い、拡散を防止しなければならない。パーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。

少量の漏出：吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。

絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。廃棄物処理については本SDS第13項を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）

適切な換気を行う。

安全取扱い注意事項

眼に入らないようにする。長時間の接触を避ける。適切な保護具を着用する。産業衛生に気を配る。

接触回避

強酸化剤。

適切な衛生対策

本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。

保管

安全な保管条件

保管温度：4と49°Cの間 混触危険物質（本SDS第10項を参照）から離して保管すること。

安全な容器包装材料

元の容器に密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

暴露限界値

含有成分に関して暴露限界は設定されていない。

設備対策

適切な全体換気（換気回数1時間に10回程度）を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空气中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空气中の濃度を適切な濃度以下に抑える。洗眼設備を設置する。

保護具

呼吸器の保護具

換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。適切な手袋は、手袋の専門業者に推奨してもらうこともできる。

目の保護具

サイドシールドのついた安全眼鏡（またはゴーグル）を着用する。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态

液体。

形状

透明な液体。

色

無色透明。

臭い

エーテル。

pH

データなし。

融点・凝固点

データなし。

沸点、初留点及び沸騰範囲

242.78 °C (469 °F)

引火点

121.0 °C (249.8 °F) タグ密閉式

燃焼性（固体、ガス）

該当しない。

燃焼又は爆発範囲

爆発下限界 (%)	1.5 %
爆発上限界 (%)	10.9 %
蒸気圧	0.01 mm Hg (20 ° C)
蒸気密度	7.15 (空気 = 1)
蒸発速度	< 1 (酢酸ブチル=1)
比重	0.97
溶解度	
水溶性	可溶性。
n-オクタノール/水分配係数	データなし。
自然発火温度 (発火点)	277 ° C (530.6 ° F)
分解温度	データなし。
粘度 (粘性率)	5.5 cP (25 ° C (77 ° F))
その他の情報	
爆発性状	爆発物でない。
酸化能力	酸化性でない。

10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学安定度	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	混触危険物質との接触。 過剰加熱。
混触危険物質	強酸化剤。 酸。 塩基。
危険有害な分解生成物	炭素酸化物。 アルデヒド。 ケトン。 有機酸類。

11. 有害性情報

成分	種	試験結果
[2-(2-メトキシメチルエトキシ)メチルエトキシ]プロパノール (CAS 25498-49-1)		
急性 経口 LD50	ラット	3200 mg/kg
皮膚腐食性/刺激性		長時間の皮膚接触により一時的な刺激を起こすことがある。
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性		眼刺激。
呼吸器または皮膚の感作		
呼吸器感作性		呼吸器感作性物質でない。
皮膚感作性		この製品は、皮膚感作を引き起こすとは思われない。
生殖細胞変異原性		本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に関して、変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。
生殖毒性		この製品は、生殖影響または発生影響を引き起こすとは予想されない。
特定標的臓器毒性 (単回暴露)		区分外。
特定標的臓器毒性 (反復暴露)		区分外。
吸引性呼吸器有害性		吸引性呼吸器有害性でない。
その他の情報		健康に対する急性または慢性的な影響に関して、その他の記録はない。

12. 環境影響情報

生態毒性	この製品は環境に有害であるとは分類されていない。しかし、大量の流出や繰り返しの流出が環境に有害な影響を及ぼさないと限らない。
残留性/分解性	この製品の分解性についてのデータはない。
生体蓄積性	データなし。
土壤中の移動性	この製品は水溶性であり、土壤中に分散するおそれがある。
オゾン層への有害性	データなし。
他の有害影響	知見なし。

13. 廃棄上の注意

残留性廃棄物	現地の規定に従い、処分する。 空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。 本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない（「廃棄上の注意」参照）。
汚染容器及び包装	製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。
地域の廃棄規制	廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。 内容物/容器は、地域/地方/国/国際法律に従って処理する。 自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

IATA

危険物には該当しない。

IMDG

危険物には該当しない。

MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送

未確定。

国内規制

国内輸送については15章の規制に従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物

該当せず。

表示対象物

該当せず。

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

該当せず。

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

船舶安全法・危規則

該当せず。

航空法・施行規則

該当せず。

火薬類取締法

該当せず。

16. その他の情報

引用文献

IARC発がん性評価モノグラフ

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月

JIS Z 7252 : 2014 GHS に基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253 : 2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

Weber Marking Systems は、本情報と当社製品、または当社製品と他のメーカーの製品の組み合わせが使用されるあらゆる状況を予測できるわけではありません。製品の処理、保管および処分を行う際に安全な状況を確認するのはユーザーの責任であり、ユーザーは不適切な使用による損失、傷害、損害または費用に法的責任を負います。シート情報は、現在入手できる最高の知識と経験に基づき記入されています。この安全データシートは、日本工業規格JIS Z 7253:2012に沿って作成した。